

TOMIKA TOWN COUNCIL

富加町議会だより

ぎわい

タブレット端末で オンライン会議を試行

町議会では、コロナ禍の密を避ける対策が重要視される中、新たな取り組みの一つとして、タブレット端末を活用したオンライン会議を試行しました。議会のペーパーレス化などとともに、集まることができない時の話し合いなどでタブレットの活用を進めていくことにしました。

主な 内容

第1回 臨時会	2
第2回 定例会	4
令和3年度施政方針	7
委員会報告	10
町政Q & A 一般質問	11
議会活動	17
これが知りたい!!	18



第1回 臨時会

県交付の「新型コロナ対策実施店舗ステッカー」の店が条件 飲食店への**支援金**創設を承認

令和3年2月2日に町議会臨時会が開催され、専決処分の承認や工事請負変更契約などの議案を議決しました。

議会の動き

2月臨時会では、「令和2年度富加町一般会計補正予算(第11号)」など、専決処分の承認案件3件が町長から報告されました。また、工事請負変更契約について2件の議案が提案され、すべての議案について原案のとおり承認、可決しました。

会期は1日間 開会2月2日 閉会2月2日

2月2日(火)	本会議 開会、議案上程・説明 質疑、討論、採決、閉会
	全員協議会 議案の詳細説明、質疑等

飲食店事業者に50万円 富加町新型コロナ感染防止対策継続支援金

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染症防止対策を継続し、更なる対策を講じて営業する飲食店事業者に対し、1事業所につき50万円を支給する支援金の専決処分が報告されました。

対象事業所は30件の想定で、補正予算額は1,500万円。店内では、利用者間の間隔確保、手指消毒やマスク着用の徹底のほか、手洗場にペーパータオルを設置するなど衛生対策を講じることを条件に、申請に基づき支給することになりました。

専決処分



令和2年度 一般会計補正予算(第11号)

補正額 4,032万4千円 総額 39億2,926万9千円

ポイント 新型コロナウイルス感染防止対策継続支援金1,500万円を追加。また、一般の方からの寄附100万円を財源とした富加小学校の体育施設工事費(屋外バスケットゴールの設置等)



120万円を計上。その他、ふるさと納税による寄附金2,000万円を追加し、ふるさと納税基金への積立金1,013万4千円などが計上されました。

(令和2年12月23日専決)

令和2年度 水道事業会計補正予算(第3号)

(収益的収支)

補正額 317万円 総額 1億4,750万5千円

ポイント 漏水等による水道管の修繕費等が追加されました。

(令和2年12月23日専決)

令和2年度 一般会計補正予算(第12号)

補正額 77万円 総額 39億3,003万9千円

ポイント 新型コロナ感染拡大防止のため、県が年末から2月にかけて、酒類を伴う飲食店に営業時間の短縮を要請したことによる協力金の町負担金が追加されました。

(令和3年1月15日専決)

工事請負変更契約について

2件の工事について、下記のとおり契約金額を増額変更することになりました。

■工事名

町道西組木船線歩道整備工事(その2)



大山地内

契約金額 変更前 4,818万円
変更後 6,007万8,700円

■工事名

滝田地内配水管更新工事



巾上地内

契約金額 変更前 6,072万円
変更後 6,263万9,500円

審議の結果

令和3年第1回富加町議会臨時会

件名	結果	賛成	反対	山田直行	渡邊圭太	木村康夫	福田定道	川崎伸泰	梅村登次	井戸亨	佐曾利敏
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて 令和2年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第11号)	承認	7	0	○	○	○	○	○		○	○
承認第2号 専決処分の承認を求めることについて 令和2年度加茂郡富加町水道事業会計補正予算(第3号)	承認	7	0	○	○	○	○	○		○	○
承認第3号 専決処分の承認を求めることについて 令和2年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第12号)	承認	7	0	○	○	○	○	○	議長	○	○
議案第1号 工事請負変更契約の締結について 町道西組木船線歩道整備工事(その2)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○		○	○
議案第2号 工事請負変更契約の締結について 滝田地内配水管更新工事	原案可決	7	0	○	○	○	○	○		○	○

○賛成 ×反対 ※議長は採決に加わりません。



第2回 定例会

令和3年度予算決まる 一般会計予算は**29億8,200万円**

令和3年3月5日から3月定例会が開催され、令和3年度富加町一般会計予算などの議案を議決しました。

議会の動き

3月定例会では、初めに板津徳次町長から令和3年度の予算編成大綱を含めた施政方針が説明されました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種にかかる準備経費などを計上した「令和2年度一般会計補正予算(第13号)」の専決処分の報告の他、「福祉医療費助成に関する条例の一部改正」など条例案件4件、水道料金に係る債権放棄についてが1件、予算案件10件が町長から提案され、これらの議案について原案のとおり承認、可決しました。

会期は13日間 開会3月5日 閉会3月17日

3月5日(金)	本会議 開会、議案上程・説明
3月8日(月)	全員協議会
3月9日(火)	議案の詳細説明、質疑等
3月11日(木)	総務産業建設常任委員会 議案の詳細説明、質疑等
3月12日(金)	文教厚生常任委員会 議案の詳細説明、質疑等
3月15日(月)	全員協議会
3月17日(水)	本会議 一般質問、質疑、討論、採決、閉会

医療費無料化18歳まで 町福祉医療費助成の対象年齢を引上げ

令和3年度の重点事業である少子化対策や子育て支援策の取り組みの一つとして、福祉医療費助成の見直し案が提案されました。

町はこれまで、15歳までの子どもを対象に医療費の無料化を行っていましたが、令和3年4月からは助成対象年齢を18歳まで拡充することになりました。

介護保険料を改定

令和3～5年度までの 第8期富加町介護保険事業計画

3年に一度の介護保険事業計画の見直しに伴い、65歳以上の方の介護保険料の改定案が提案されました。

令和3年度から3年間の本町の介護保険に係る費用は、令和2年度までの3年間に比べ約3億円の増加が見込まれており、介護保険料の基準額を月額5,500円に改定することになりました。

専決処分

令和2年度 一般会計補正予算(第13号)

補正額	230万4千円	総額	39億3,234万3千円
-----	---------	----	--------------



新型コロナウイルス感染症対策として、県の飲食店時短要請延長による協力金の町負担金 84 万円を追加。また、ワクチン接種の準備に係る費用 146 万 4 千円が計上されました。

(令和3年2月4日専決)



条例の一部改正

富加町手数料徴収条例の一部改正



マイナンバーの通知カードの廃止に伴い、再交付の手数料を削除する等の改正。

富加町福祉医療費助成に関する条例の一部改正



助成対象者である乳幼児等の定義について、対象を 18 歳までに引き上げる等の改正。

富加町介護保険条例の一部改正

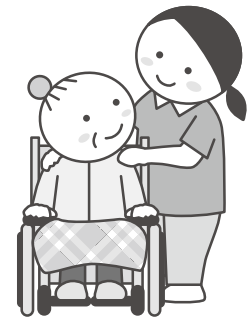


第 8 期(令和 3 年度から 5 年度)町介護保険事業計画による介護保険料基準額等を改正。

富加町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正



介護保険法による地域密着型サービスの指定基準や設備、運営基準等について事業者の責務や運営基準等が改正されたことに伴い、関係する 4 条例を改正。



補正予算

令和2年度 一般会計補正予算(第14号)

補正額	▲1億917万5千円	総額	38億2,316万8千円
-----	------------	----	--------------



一般事務経費や新型コロナウイルス感染症対策に係る事務事業の精算による不用額等を減額。追加分には、長良川鉄道経営安定対策補助金 319 万 5 千円その他、マイナンバー事務委任に係る交付金 330 万円、町道西組木船線整備工事費 214 万円等が計上されました。

予算を翌年度に限り繰り越して使用する繰越明許費補正には、戸籍システム改修業務に 638 万 7 千円、町道西組木船線歩道整備事業に 4,380 万円、岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金負担金事業に 209 万 3 千円を追加。また地方債では、新型コロナの影響で減収が見込まれる町税を補填するための減収補填債 920 万円が追加されました。

令和2年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

補正額	2,133万8千円	総額	6億7,117万1千円
-----	-----------	----	-------------



特定健康診査等事業費 406 万 5 千円等を減額し、国保財政調整基金積立金 2,687 万 5 千円が追加されました。

令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

補正額	88万1千円	総額	7,743万8千円
-----	--------	----	-----------



後期高齢者医療広域連合納付金の保険料等負担金が追加されました。

令和2年度 介護保険特別会計補正予算(第3号)

補正額	401万5千円	総額	5億5,599万1千円
-----	---------	----	-------------



居宅介護や高額医療合算介護サービス費等の保険給付費等が追加されました。



その他

水道料金に係る債権の放棄について



町水道料金について、所在不明などの事情により徴収が極めて困難である債務者3名5件分金額50,377円の債権を放棄することになりました。



審議の結果

令和3年第2回富加町議会定例会

件名	結果	賛成	反対	山田直行	渡邊圭太	木村康夫	福田定道	川崎伸泰	梅村登次	井戸亨	佐曾利敏
承認第4号 専決処分の承認を求めることについて 令和2年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第13号)	承認	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第3号 富加町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第4号 富加町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第5号 富加町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	6	1	○	○	○	○	○			○ ×
議案第6号 富加町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第7号 水道料金に係る債権の放棄について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第8号 令和2年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第14号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第9号 令和2年度加茂郡富加町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	議長		○ ○
議案第10号 令和2年度加茂郡富加町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第11号 令和2年度加茂郡富加町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第12号 令和3年度加茂郡富加町一般会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第13号 令和3年度加茂郡富加町国民健康保険特別会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第14号 令和3年度加茂郡富加町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第15号 令和3年度加茂郡富加町介護保険特別会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第16号 令和3年度加茂郡富加町水道事業会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○
議案第17号 令和3年度加茂郡富加町下水道事業会計予算	原案可決	7	0	○	○	○	○	○			○ ○

○賛成 ×反対 ※議長は採決に加わりません。

令和3年度 施政方針



少子化対策、子育て支援に重点 JUSTomika Life を実現

板津町長から、令和3年度の予算編成を含めた町政全般に関する所信が述べられました。
新型コロナウイルスの影響で、一般会計は4年ぶりの減少となりました。

Ⅰ コロナ発生から1年

昨年中は、議会でご挨拶を申し上げる都度、コロナ感染症を話題とせざるを得ない状況が続き、こうして1年が経過することとなりました。岐阜県ではコロナ発生以来、3月5日までに4,648名の方が感染し、112名の方がお亡くなりになりました。本年に入っても感染拡大は終息せず、この地域でも県内最大のクラスターが発生するなど、この約2ヶ月で昨年1年間に匹敵する感染状況となっています。本町においても、大変残念なことではありますが、1名の方がお亡くなりになりました。ご遺族の皆様には心よりお悔やみ申し上げますとともに、故人のご冥福をお祈りしたいと存じます。

国内では、2月17日より医療従事者からワクチンの先行接種が開始され、各都道府県へのワクチン配分スケジュールも徐々に公表されているものの、十分な供給に関しては不透明な状況であります。そのような中、本町においても一般接種開始に向け万全の準備となるよう業務を進めているところでありますが、改めて国を挙げての医療体制の充実や治療薬、ワクチンの開発体制の強化が必要と感じているところです。現在のところ4月26日の週から県内全市町村向けにワクチンが配布の予定となっていますが、現実的な接種は5月にずれ込むことも視野に入れながら柔軟に対応していきたいと考えています。

3月1日からは国の緊急事態措置区域からは除外となりましたが、岐阜県の緊急事態対策は続いており、飲食店に対する時短要請は3月7日で終了しますが、基本的な予防対策はもちろん、特に飲食の機会には最大限の注意を払うなどオール富加でこの状況を乗り越え、過去の平穏な日常に早く戻れることを切に願うものです。

Ⅱ 町の事業は順調に進捗

本町の事業は、コロナ感染症対策のため中止とした事業を除き、加治田住宅塗装工事及びタウンホール設備改修事業など、各種事業は順調に進捗しています。重点事業である主要道路3事業は、公共工事の平準化も考慮しながら翌年度繰越も視野に入れた発注、施工状況となっている他、いちご生産新規就農者に対し補助金として交付した栽培施設整備事業も完了しており、昨年には出荷を開始されたところです。

コロナ感染症対応にかかる事業では、とみか元気振興券事業、飲食店感染防止対策継続助成など多くの支援策で100%近いご活用をいただいております。GIGAスクール事業についても本年度中に整備が完了し、新年度よりこれを活用した授業等が開始される予定となっています。

また、国の第3次補正にかかる臨時交付金については、現在支援策等について検討中であり、3年度の補正予算で対応させていただきたいと思っております。

Ⅲ 町第5次総合計画は、後期がスタート

私は、昨年5月の町長選挙において無投票当選という栄誉を賜り、その際にお約束したJUSTomika Life「みんなで創る 誰もが住みよい ちよどいいまち とみか」の実現のため、第5次総合計画の6つの目標を基本とし、人口増加対策、子どもを安心して産み育てられる町とすることを念頭に行政を運営してきました。本年度をもって5年間の前期基本計画が終了となりますが、昨年の検証結果からは、自然動態では出生者数が死亡者数を下回るものの、社会動態では転入者数が転出者数を上回った他、町内事業所における就業者も増加しています。また、0歳から14

歳までの年少人口は増加傾向で推移しており、これらの結果からも、これまでの施策の方向性は変えることなく、来年度に向けても同様の理念のもと事務事業を進めていきたいと考えています。令和3年度からは、現在パブリックコメントを実施しております「富加町第5次総合計画の後期基本計画」のスタートの年となります。今後は、この計画を充分見据えた上で、各種施策を広く皆さまのご意見を伺いながら、未来の富加町へ確実につなげていけるものとしたいと考えております。

「コロナの影響で一般会計は4年ぶりの減

新年度予算編成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響による町税等の減収を見込んだ中で継続重点事業の進捗を大きく停滞させることなく、かつ町民の皆様の日常生活に影響の無いよう、既存事業及び経常経費の十分な精査を念頭に、先に述べました6つの基本目標の更なる推進を図ることを目指し取り組みました。

一般会計の予算総額は、29億8,200万円とし、3年ぶりに30億円を下回る予算としました。昨年度と対比しますと、ふるさと納税事業見込みの増額及び役場業務インターネット系仮想サーバの更新事業などにより約3,000万円を増額したものの、加治田住宅外壁塗装工事及びタウンホール電圧変換機改修工事等の完了により約7,000万円が減少し、更には下水道事業会計への繰出金について留保金の活用により約3,000万円が減少し、合わせて約1億円を減額できたことが主な要因です。また、企業振興奨励金の継続、重点インフラ道路3路線事業の大幅な遅延のない推進は欠かすことはできない事業であることから、このような予算規模となったものです。

歳入では、町税については前年比7.7%減の7億7,300万円ほどを見込んでいます。これは、町民税では、新型コロナウイルス感染症の影響による個人所得及び法人収益の減収を見込み3,800万円の減額とし、固定資産税では課税見込額は微増となったものの、コロナ経済対策による減免措置の影響により2,600万円の減額としたことによるものです。

なお、コロナ経済対策減収分については、国より減収補てん特別交付金が措置されますが、詳細な算定基準等が明確でないため、暫定的に1,500万円を計上しています。

地方交付税は、地方財政計画等に基づき積算しますが、国より示された伸び率等により1億300万円の増額とし、9億8,900万円を見込んで

ています。

国庫支出金は、社会資本整備総合交付金（住宅分）の減少等により、全体で2,000万円ほど減の2億3,600万円を見込んでいます。

寄附金では、ふるさと納税返礼事業について前年実績等により2,000万円の増の5,000万円としました。

町債は、臨時財政対策債発行可能額の増加に伴い3,800万円ほどの増額の1億2,800万円となりました。

なお、基金繰入金については、歳出に対する不足財源に対し、財政調整基金8,000万円、まち・ひと・しごと創生基金2,000万円、及びふるさと納税基金7,500万円の計1億7,500万円をそれぞれの用途に応じ充当しています。

「少子化対策・子育て支援などに重点

歳出については、町第5次総合計画の基本目標に沿って、主な新規事業を申し上げます。

①「健康に暮らせるまちづくり」では、子育てしやすいまちづくりの更なる充実のため、福祉医療費として現行の保険医療費助成対象を15歳から18歳までに引き上げることとし287万円を、医療育児等様々な健康相談を24時間対応できるよう定住自立圏事業にて実施し、その町負担金51万円を、子育てにかかる産前産後の専門的講師によるケア事業費として22万円を、また医療介護施設等の人材確保支援のため、新規従業者就業補助金を創設し52万円を計上しました。



②「魅力的な生活空間のあるまちづくり」では、河川公園とみぱーくの維持管理及び駐車場整備設計業務にかかる事業費740万円を、町営住宅の長寿命化計画策定のため業務費500万円を、地籍調査事業では高畑、川小牧地区の調査測量等業務費1,580万円を、加治田教員住宅跡地の有効利用のため設計等業務費297万円を計上しました。また、継続事業となりますが、重点インフラ事業の川浦川左岸線に8,400万円、稻荷北野線に1,000万円、西組木船線に4,000万円を計上しています。

③「快適で安心安全なまちづくり」では、川小牧山下池廃止にかかる下流域の排水対策として測量設計費 180 万円を、井高地内排水路では改修工事にかかる詳細設計業務費 500 万円を、定住自立圏事業として実施する防災士の育成等地域防災力強化事業にかかる負担金 15 万円を計上しました。なお、加治田住宅南側の半布ヶ丘公園法面崩壊復旧工事については、県の事業として施工できることとなり、予算計上していません。

④「豊かな心と文化を育むまちづくり」では、公民館等の適切な維持管理のため、10 年ごとに実施する法定点検としてタウンホール及び公民館の特定建築物検査費 426 万円、タウンホール 2 階トイレ改修設計業務 117 万円、西公民館体育室照明 LED 化改修費 332 万円を、小学校環境整備として、中舎トイレ改修設計業務 210 万円、教員業務支援等にスクールサポートスタッフ配置費用 105 万円を、文化財保護として夕田地区水田暗渠排水工事に伴う埋蔵文化財調査業務費 218 万円を、また、町内在住中学生を対象とした海外派遣研修としてダボ市派遣補助金 30 万円を計上しました。

⑤「魅力と活力あるまちづくり」では、農業振興として、昨年に続き新規就農者のいちご栽培施設整備に対する、元気な農業産地構造改革支援事業補助金として 2,500 万円を、ジャンボタニシ被害対策費用 36 万円を計上しました。商工業振興では、商工会が実施する街路灯 LED 化等整備補助金として 100 万円、新たな店舗開設等創業支援補助金として 100 万円、道の駅の維持管理として屋根塗装補修工事費 160 万円を計上しました。また、継続事業の企業振興奨励金として、新たに 1 社を加えた 3 社に対し 2,794 万円を計上しました。

⑥「協働で進める自立したまちづくり」では、行政サービスではマイナンバーカード普及促進事業として事務経費等 501 万円を、公図（字絵図）発行等業務の効率化としてデータデジタル化業務費 103 万円を、パスポート発給事務にかかる設備改修等経費として 105 万円を、町税納付等の利便性向上のため現在取扱い中のコンビニ収納に新たにスマホ決済を加えた手数料として 63 万円を計上しました。行財政では、ふるさと納税にかかる返礼品開発事業者に対する助成として補助金 50 万円を、また、選挙事務の効率化として開票集計システム等の導入費 96 万円を、人事給与事務にかかる年末調整事務等の効率化として電子化等システム改修委託費 69 万円を計上しています。

一般会計と 3 つの特別会計との予算総額は 42 億 6,700 万円ほどとなり、対前年度比 0.6% の減額とほぼ前年並みとなりました。

なお、水道事業会計及び下水道事業会計を含めた予算総額については、47 億 6,700 万円ほどとなり、この総額においてもほぼ前年度と同水準としました。

令和 3 年度一般会計の主な新規事業など

内 容	予 算
福祉医療費助成(医療費無料化)の対象を 18 歳まで引き上げ	287万円
富加小学校にスクールサポートスタッフを配置	105万円
町内の医療・介護・障がい事業所への就業補助金	52万円
ジャンボタニシによる農業被害対策(薬剤散布)	36万円
商工業者の創業支援事業補助金	100万円
町道川浦川左岸線改良工事	8,400万円

一般会計／特別会計当初予算

	令和 3 年度	令和 2 年度	比 較	
			増 減	比 率
一 般 会 計	29億8,200万円	30億5,400万円	▲7,200万円	▲2.4%
特 別 会 計	12億8,473万円	12億4,026万円	4,447万円	3.6%
国民健康保険	6億5,024万円	6億4,708万円	316万円	0.5%
後期高齢者医療	7,680万円	7,527万円	153万円	2.0%
介 護 保 険	5億5,769万円	5億1,791万円	3,978万円	7.7%
合 計	42億6,673万円	42億9,426万円	▲2,753万円	▲0.6%

企業会計当初予算

水道事業会計		令和 3 年度	令和 2 年度	比 較	
				増 減	比 率
3条(収益的)	収入	1億4,761万円	1億4,364万円	397万円	2.8%
	支出	1億4,761万円	1億4,364万円	397万円	2.8%
4条(資本的)	収入	7,937万円	8,327万円	▲390万円	▲4.7%
	支出	9,711万円	1億497万円	▲786万円	▲7.5%

下水道事業会計		令和 3 年度	令和 2 年度	比 較	
				増 減	比 率
3条(収益的)	収入	3億5,303万円	3億4,823万円	480万円	1.4%
	支出	3億5,303万円	3億4,823万円	480万円	1.4%
4条(資本的)	収入	1億5,401万円	1億7,927万円	▲2,526万円	▲14.1%
	支出	1億8,401万円	1億8,019万円	▲382万円	2.1%

委員会報告

総務産業建設常任委員会

**町道川浦川左岸線改良工事 8,400 万円
などを含む令和3年度一般会計予算案を
可決すべきものと決定**

委員長／木村議員 委員／山田議員、川崎議員、梅村議員

総務産業建設委員会では、令和3年度一般会計予算案で計上された主な新規事業や継続事業について協議しました。

道路改良関係では、川浦川左岸線に 8,400 万円、高畑稲荷北野線に 1,000 万円、西組木船線に 4,000 万円の予算が計上されるなど、主要3路線を継続重点事業として推進していくこと、また、町営住宅長寿命化計画の策定経費 500 万円や加治田教員住宅跡地などの町有地有効活用事業費 345 万円を挙げ、魅力的な生活空間のまちづくりを進める予算であることが町執行部から説明されました。



歩道整備が進む町道西組木船線(大山地内)

新規事業では、創業のための店舗の新設と改修補助金を創設し、町内商工業の活性化を図るため 100 万円を計上したことや、ジャンボタニシによる農地被害対策として薬剤経費 36 万円を計上したほか、新規就農者のいちご栽培施設整備補助金として 2,500 万円を計上するなど、魅力と活力あるまちづくりに取り組むことが説明されました。

慎重な審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

その他、所管する予算案件等について協議し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

文教厚生常任委員会

**新型コロナワクチン接種関連経費など
専決補正した一般会計補正予算案を
承認すべきものと決定**

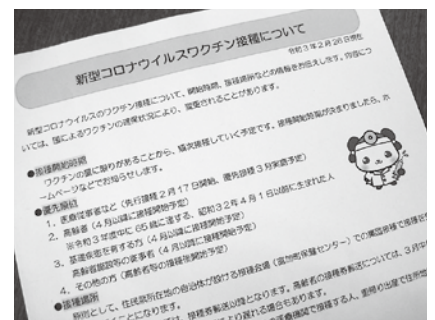
委員長／福田議員 委員／井戸議員、渡邊議員、佐曾利議員

文教厚生委員会では、3月定例会に上程された専決補正予算（一般会計補正予算案（第13号））のうち、新型コロナウイルスワクチン接種関連費用等について協議しました。

新型コロナワクチン接種については、既に医療従事者向け先行接種が始まっており、本町では町民がいつ接種できるのかが注視すべき事項でした。町執行部からは、国が4月5日の週から各都道府県へワクチンを出荷する見込みであり、岐阜県へは4月5日から19日の週にかけて22箱のワクチンが配分される予定であることが示されました。また、県のワクチン供給方針として、まず最初の22箱については接種対象人口の多い市の順に配布し、4月26日の週に国から配分されるワクチンについては、全市町村に1箱（約480人分）ずつ供給する考えであることが説明され、本町の接種については、5月上旬を目処に、県の接種順位の考え方に沿って65歳以上の高齢者や高齢者施設等の従事者から接種する予定であると話しました。

委員からは、接種場所や予約、接種券、予診票、基礎疾患、副反応など多くの事項について質問や確認がありましたが、町執行部には十分な体制を準備されることを求め、接種券の通信運搬費や備品購入経費等147万円の追加補正を承認すべきものと決定しました。

また、その他予算案件等いずれも、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



新型コロナウイルスワクチンの接種について周知する町のチラシ

一般質問

町政

Q & A

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
3月定例会では、6人の議員が11件の質問を行いました。
掲載の内容は、質問及び答弁を要約したものです。

富加町議会では、令和3年3月定例会から議員1人あたりの持ち時間を、これまでの40分から60分に変更しました。
「一括」または「一問一答」から質問方式を選択し、議長の許可を得て質問します。



QRコードからは
議会録画映像を
ご覧いただけます。

*映像の公開には、一定の期間を要することがあります。

一問一答 新型コロナウイルスワクチン接種に関して 渡邊 圭太 議員



Q ワクチンの接種対象、接種時期について
お聞きします。

A 【川合 福祉保健課長】
薬事承認されたアメリカファイザー社のワクチンについて、接種対象年齢は接種を受ける日時点で満16歳以上とされました。

65歳以上の高齢者向け接種について厚生労働省は、4月5日の週から各都道府県へワクチンを出荷できる見込みであるとしたため、県は市町村へのワクチン供給方針を立て、まず、接種対象人口の多い順に原則1箱ずつ供給し、4月26日の週に国から配分されるワクチンについては、全市町村に1箱ずつ供給するとなりました。これにより、本町での接種開始は4月26日の週以降となります。

Q ワクチンの接種会場などについて
お聞きします。

A 【川合 福祉保健課長】
ワクチン接種は、富加町保健センターでの集団接種のみを予定しており、会場を含め接種に関する情報についてはチラシを全戸配布し、ホームページ

に掲載しました。今後も最新の情報や接種日程について周知していく予定です。なお、接種は原則、水・木・土曜日の午後を予定しています。

また、会場までの交通手段として、町社会福祉協議会による高齢者移動支援事業を接種日程に合わせて活用する予定です。

Q コロナワクチンについて教えてください。

A 【川合 福祉保健課長】
コロナワクチンの接種については、予防接種法により接種対象者は接種を受ける努力義務の規定が適用されますが、文書により同意を得た場合に限り接種を行うものであり、強制ではありません。

なお、重篤な副反応であるアナフィラキシーに対しては、薬品などを準備し対応することとしています。初めてのワクチンであるため、副反応に対して不安があるのは当然のことであると考えています。どのような副反応がどのくらいの頻度で起こるかなどを広報やホームページ、コールセンターなどで丁寧に説明していくことが必要だと考えています。また、接種前にかかりつけの医療機関に相談していただくこともお勧めしたいと考えています。

Q コロナ禍の小中学校の授業履修状況はどうなりましたか。また、こども園や小中学校で、規模縮小や中止、代替となった行事を教えてください。

A 【日比野 教育課長】
小、中学校ともに、学校長をはじめ教職員の工夫や努力により、学習内容の履修を終えられる見込みであることを確認しています。

行事については、こども園では式典や運動会などが、小学校では式典や芸術鑑賞会などが、中学校では式典や交通安全教室などが規模縮小となっています。また、こども園の餅つき大会や親子遠足、参観日、小学校の授業参観や児童会行事、中学校の授業参観や生徒会活動のほか、合唱祭、職場体験などが中止となり、こども園の発表会や小学校の社会科見学、修学旅行、中学校の修学旅行やスキー研修が代替えとなりました。

Q 令和3年度の学校事業計画の見込みについてお聞きます。

A 【日比野 教育課長】
ワクチン接種によって社会全体がコロナ感

染症の脅威から早期に解放されることを望んでいます。学校行事においては、既に入學式を規模縮小で行うとしたことから、例年どおりの計画を立ててはいるものの、コロナ感染状況によりその時々判断が必要になるのではないかと見込んでいます。

Q 学校内でコロナ感染者が出た場合の対応はどうするのですか。

A 【日比野 教育課長】
教育委員会では、ご家庭に新型コロナウイルスに感染した場合の対応について案内を配布しています。本人が感染した場合、本人が濃厚接触者となった場合、家族が濃厚接触者となった場合、念のためのPCR検査を受けた場合など、パターン化した対応をとるようにしており、これらの場合には速やかに学校へ報告していただくようお願いしています。

学校内で感染者が発生した場合は、感染者本人の出席停止、該当者の在籍学級の学級休業、または在籍学年の学年休業、学校全体の臨時休業となる場合のほか、小学校では通学班でも同様の対応となる場合があります。

いずれの場合も、保健所の指導を仰ぎながら、最終的には町、町教育委員会が決定することとなります。

一問一答 川浦川左岸道路に付帯する周辺道路の整備について

山田 直行 議員



Q 川浦川左岸道路の整備に関連し、現在のJA富加支店交差点の信号機を廃止する計画であるとの説明を受けていますが、危険な状態になるのではないですか。また、川浦川新橋南詰めに信号機が設置されると、南進する車のスピードが出やすくなり、東西の横断が大変になると予想しますが、見解をお聞きます。

A 【澤野 建設課長】
岐阜県による説明会では、川浦川左岸線交差点に信号機を設置する計画であるため、既設のJA富加支店交差点の信号機は廃止することになるであろうということでした。県は、設計の段階で公安委員会と協議しており、交差点間の距離が短いとの理由から2つの信号機設置は難しいとの指導を受けたことを確認していますが、最終的な決定ではないと認識しており、今後において県や公安委員会と協議を重ねていきたいと考えています。

なお、この路線に信号機が無くなるといったことではありませんので、南進及び北進する車のスピードが現在と変わることはほぼないと予想しますが、JA富加支店交差点の信号機が廃止されると信号機のない横断歩道を児童や生徒などが横断することになることが予

想されるので、新たな課題と認識し、可能な限り安全に配慮した道路計画になるよう要望していきたいと考えています。

Q 夕田地区から県道富加坂祝線へ出る交差点が大変見通しの悪い交差点であるため、タウンホール東側付近も含めた全体的な道路形態について、生活者中心の道路に見直しをお願いしたいと思いますが、見解をお聞きます。

A 【澤野 建設課長】
町の要望により、15年ほど前にはタウンホール東側付近から夕田口付近まで暫定的な形で県道改良工事が実施されていますが、交差点より南の事業化は現在のところ難しく、今後の課題であると考えています。

また、町交通安全対策協議会では、毎年、関係各位からいろいろなご意見を伺い、交通安全対策や道路政策を行っており、小学生の通学路については、通学路交通安全プログラムを策定し、通学路の安全確保に努めています。なお、このプログラムは、登下校の見守り活動をされている皆様のご意見をいただき、毎年更新していますので、新しい道路環境に対しても交通の状況に応じて対策を講じていきたいと考えています。



Q 現状でのワクチン接種率70%は、かなりハードルの高い目標と思いますが、見解と予測についてお尋ねします。

A **【川合 福祉保健課長】**

今回の予防接種は、予防接種法に規定する臨時接種として実施するものであり、市町村長は対象者に対し、接種勧奨をすることとされています。

令和2年度の本町の高齢者インフルエンザ予防接種では、自己負担額を町で補助したこともあり、接種率は約75%となりました。例年の接種率は60%

程度であることから、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行を防ぐ目的があったとはいえ、高齢者の方のコロナウイルス感染症に対する不安な思いは強いと考えています。

このことから、コロナウイルスワクチンの接種率も高くなるのではないかと推測をしているところです。

今後は、ワクチン接種に関する正確な情報を周知していくことで、接種勧奨に努めていきたいと考えています。



Q 富加町では、どんな防災機能がありますか。非常時への対策はできていますか。

国土交通省は、道の駅の防災機能を強化していく考えです。災害時の拠点となる機能を備えた施設を「防災道の駅」として認定する制度を創設し、各市町村の道の駅の防災機能に統一基準をつくることで災害時の有効活用につなげていこうとしています。また、道の駅の被災状況などをリアルタイムで確認できるシステムを整備し、地上回線が途切れても電話やネットが使えるよう衛生通信の導入も促します。中継基地のほか、周辺住民らの避難にも利用できるよう事業継続計画(BCP)の策定も求めているとのこと。災害対策、BCP対策の強化、テロや災害システム障害など、危機的状況下で置かれた場合でも重要な業務が継続してできる方策を用意し、生き延びられるようにしておくための計画が必要ではないでしょうか。

また、自然災害の発生時に住民の避難費用を補償する保険に加入する市町村があります。保険は、避難所設置や住民に配る食料の費用に加え、職員の残業代もカバーできます。災害多発を受け、避難費用の不安を解消したい地方自治体が入っていますので、本町も加入を検討されてはいかがでしょうか。

A **【福田 総務課長】**

町では、災害対策関連の予算を毎年度計上し、防災能力の向上を図っているところですが、更に大規模自然災害等に備えるため、令和3年度からの5カ年計画として「富加町国土強靱化地域計画」を策定していま

す。この計画は、発災前に様々なリスクを見据え、いかなる事態が発生した場合でも最悪の事態に陥ることを避けるため、本町の行政機能や地域社会、地域経済等の強靱化を図る総合的な計画です。

災害時の備えとして、飲料水確保については、双葉中学校付近で県の送水管から直接水道水を取り出す応急給水施設があります。食料の備蓄については、備蓄倉庫を役場と西公民館に増設し、食料品等の備蓄量を増やすべく毎年予算化をしているところです。停電対策としては、役場庁舎にディーゼル式非常用発電機を整備し、防災無線による放送や事務作業に必要な電力を連続72時間供給できるようになりました。避難所の発電機については、西、南公民館に移動式の発電機を配備したところです。その他にも、役場等で保管している小型発電機7台を活用することができます。コロナ感染防止対策としては、避難所運営マニュアルに新型コロナウイルス感染症に対応したものを新たに作成したところで、非接触型の体温計、パーティション、マスクなどの資機材についても拡充しています。

道の駅の防災機能ですが、現在、道の駅駐車場については指定緊急避難場所、館内についてはライフライン事業者の復旧活動拠点として位置づけており、町で策定中の「道の駅施設拡充基本構想」においても防災機能の拡充を盛り込んでいます。今後更に道の駅を防災上どう位置づけていくのか検討することが必要であると考えているところです。

また、災害保険については、全国町村会の災害対策費用保険に加入すれば、避難指示、避難勧告、避難準備・高齢者等避難判断開始の発令に伴い要した費用の全部又は一部が補償されます。県内では9町村が、可茂管内では5町が加入していると聞いており、本町では、保険掛け金と発令時の諸費用とを勘案し、今後の加入について検討していきたいと考えています。



Q 令和3年度一般会計予算の歳入について、交付金や町税はどれくらいを見込んでいますか。ふるさと納税寄附金や基金からの繰入額についてはどう考えていますか。

A 【板津 町長】

交付金は1億9,400万円となりました。新型コロナウイルス地方税減収補てん特別交付金が措置され、1,550万円を新規で計上したほか、地方交付税は9億8,900万円を見込んでいます。

町税は、前年比7.7%減の7億7,300万円とし、このうち町民税は新型コロナウイルスの影響を見込み2億8,500万円を計上しました。固定資産税ではコロナ経済対策による減免措置により、前年比5.8%減の4億4,200万円を計上しています。

ふるさと納税寄附金は、前年比66.7%増の5,000万円です。新年度は返礼品の開発や改良をバックアップするため、ふるさと納税返礼品開発補助金50万円を新規計上しています。

基金繰入金については、歳出に対する不足財源に対し、財政調整基金8,000万円、ふるさと納税基金7,500万円など合計1億7,500万円を用途に応じて充当しています。

Q 歳出について、コロナ感染予防対策は今後何が必要と考えていますか。また、主要3路線の道路整備事業や採択済みの町単工事の執行はどうなりますか。

A 【板津 町長】

コロナ感染予防対策については、令和2年度の国の臨時交付金のうち約5,000万円を次年度に繰越し、新たな活用事業を検討して4月以降に補正予算で計上する予定です。

主要3路線事業のうち川浦川左岸線道路新設整備事業については8,400万円を計上し、令和6年度の開通を目指します。稲荷北野線歩道整備事業については4,000万円を計上し、水路の布設のほか擁壁等の施工を予定します。また、稲荷北野線については、用地取得費として1,000万円を計上しました。どの事業も概ね順調に推移していますが、今後の財源確保等を含め町の予定どおりいかないことも考えられますので、ご理解をお願いしたいと思います。また、町単工事について令和3年度予算では、駅前地内の滝田48号線道路改良工事費等を計上しています。その他、下羽生地内の羽生47号線道路改良工事等を令和4年度以降に順次実施していく予定としています。

Q 第8期へ向けての総括について、データ数値も挙げて料金改定の説明を求めます。

A 【川合 福祉保健課長】

平成27年度以降、要介護認定者数や給付費が増加傾向にあり、令和元年度では約1.3倍となっています。人口は減少傾向にありますが、令和5年度の高齢化率は31.4%、要支援・要介護認定者数は337人と推計しており、その後も増加が見込まれます。また介護給付費は、平成30年度から第7期は約14億円、令和3年度からの第8期では、約16.8億円に増加する見込みです。

第8期の介護保険料基準額は、前回から1,200円増額となる5,500円としていますが、令和2年度末の基金約8,000万円のうち4,000万円を取り崩して算定し、介護保険事業計画策定委員会で検討した結果、今回の料金改定案となりました。

Q 策定委員会では、この値上幅について負担が大きいなどの意見はありませんでしたか。基金をもう2,000万円取り崩して負担を軽減してはと考えますが、見解をお聞きます。

A 【川合 福祉保健課長】

昨年度実施したアンケートでは、「現在のサービスで現在の保険料が良い」と回答された方が多くなりました。策定委員会では、「基金は、直ぐに取り崩すべき」との意見がある一方、「今後の給付費増加に備えて蓄えるべき」等の意見があり、令和2年度末の基金を第8期で4,000万円、第9期で4,000万円取り崩すことで、第9期も第8期と同水準の保険料額を維持することを目標としたものになりました。

なお、基金の取り崩し額を2,000万円増額した場合、第8期の保険料基準額は5,200円となりますが、3年後の第9期の保険料基準額は5,800円となり、保険料を更に増額する必要があることを考慮し、本計画では4,000万円を取り崩した料金設定としました。

Q 第9期(令和6年度から3年間)への見通しについてお尋ねします。

A 【川合 福祉保健課長】

令和7年度には団塊世代が75歳以上となり、更なる給付費の増加が想定されます。残りの基金4,000万円を取り崩すことで保険料額の増額を抑えるとともに、認知症予防施策の推進、介護予防事業の充実、及び介護給付費の適正化を進め、給付費の増加を抑える施策を進めていきます。

Q

現在、夕田地域への進入道路は二級道路金塚・南洞線ですが、この道路は幅が狭く対向車とのすれ違いに際して大変危険を感じており、待機してやり過ごすことが多いため、以前から道路拡幅整備をして欲しいとの要望もたくさん聞いています。またこの地域は、過去50年間で振り返っても新規入居者は一軒もなく、住宅用地が少なく閉鎖的であります。そこで、地域活性化と将来発展のために夕田15号線「仮称夕田バイパス」の道路拡幅整備を検討いただき、町の道路整備計画に取り上げていただきたく提案します。この路線は道路路面が急こう配であり、過去5年間で4回法面が崩落し、今年度も崩落して先日修復工事が完了したばかりです。道路構造が脆弱で、今後も崩落するだろうと危惧しているところです。また、同路線に隣接する丘陵畑約3.0haの地権者からも、将来的に土地の利用価値向上を願って開発条件を整備できないかと要望も聞いています。

A

【澤野 建設課長】

ご提案の夕田15号線の道路改良事業については、丘陵地の宅地化を視野に入ると夕田地区の新たな活性化に留まらず、町が推進する人口増対策にも繋がるもので、大変夢のある壮大な事業計画であると思います。

しかし、現在、町では川浦川左岸線・稲荷北野線・西組木船線の主要3路線について積極的な事業展開を継続しており、完成に至るまでには数年から10年を越える年月と多額な事業費を要すると思っています。この3事業と並行して実施することは、町の財政規模を考えると大変困難であると考えますので、現時点では道路整備計画に取り上げることは難しいと考えています。

しかし、取り組みへの目線を少し変え、中・長期的に考えますと、現在、町では、東海環状自動車道暫定2車線区間の付加車線化(いわゆる4車線化)の早期事業化を国へ強く要望しているところであり、施工の際には、トンネル工事等で大量の工事残土を受け入れることができるかどうか課題です。財源を確保するためには、こうした建設残土を活用した田面等の嵩上げ事業と合わせて道路改良を実施する手法も考えられます。この嵩上げ事業は、度重なる法面崩落の防止効果があり、現道の拡幅についても検証できる可能性を持っていると思います。

なお、この件については、農地サイド等との連携や耕作者等のご理解が不可欠ですので、現時点では一つの手法として申し上げます。

一括

小学校体育館の空調設備導入について
(コロナ禍の災害対策)

井戸 亨 議員



Q

災害発生時、特にコロナ禍において小学校体育館の避難所としての重要性が高まっています。教育的観点からも体育館のエアコン整備は必要で、防災減災及び教育環境向上の両面からみても、これが最優先課題と考えます。コロナ禍でソーシャルディスタンスを確保するため、小学校体育館を避難所とすることが不可欠ですが、底冷えの真冬の体育館、猛暑の中の夏の体育館、こうした環境の中、現在の体育館が避難所としての役割を果たすことが出来るのでしょうか。一方、近年の異常気象の中、水泳指導も危がまれており、児童の体力向上という観点からも真夏の体育館使用は不可欠であると考えます。昨年的一般質問で富加小体育館へのエアコン導入を提案しましたが、「必要と考えるが財政上困難である」との回答でした。しかし今、防災減災及び教育環境向上の両面から、体育館エアコン整備に踏み出す時と考えます。

A

【粥川 教育長】

学校では、暑さ対策として年間指導計画の入れ替えなど、工夫して体育の授業時間を確保しています。

体育館にエアコンが設置されれば、安心安全な環境の中で体育の授業が進められることができると思いますが、整備のための予算については教育委員会で決定できるものではありませんので、ご理解をお願いします。

【板津 町長】

小学校体育館への空調設備導入については、非常に多額の予算を必要とするため、厳しい予算の中で一般財源により着手することは困難と考えています。また、コロナ禍において国より交付される地方創生臨時交付金を活用するにしても、制度の趣旨からも説明が難しいと考えます。異常気象により高温の夏が続く中、将来的に学校体育館に空調設備を導入するための国県による補助金制度等が創設されれば、検討していきたいと考えます。なお、校舎の各教室にはエアコンが設置済みであり、暑さ寒さに耐えきれない環境であれば、高齢者や体調の悪い方などを中心に、教室を利用するのも現状では一方法と考えています。

Q 各種審議会や非常勤特別職職員における委員長及び委員の女性の割合は、町長部局、教育長部局それぞれどのようになっていますか。

A 【**粥川 教育長**】
教育委員会所管では、委員長に女性が就いている委員会等はありません。本町の非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例で規定されている委員会は7つありますが、女性の割合が多い委員会は子ども子育て会議の67%、少ないものはスポーツ推進審議会の15%で、平均は39%です。その他の条例や規則等により設置されている委員会等を含めると平均36%となっています。

【**福田 総務課長**】

町長部局についても、委員長に女性が就いている審議会や委員会はありません。また、非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例に該当する委員の女性の割合は17%となっています。

Q 各委員会のメンバーは、どのように選定しているのですか。また、各委員会における女性比率の推移はどうなっていますか。

A 【**粥川 教育長**】
法律や条例等で規定されている、設置目的に合った方を選任しています。また、委員の公募も行っており、昨年度募集した子ども子育て委員は応募され委員となられた3人の方全員が女性で、貴重なご意見をいただいたところです。

なお、女性委員の割合が増えているものは、教育委員会40%、文化財審議会委員33%、減っている委員会はスポーツ推進審議会15%となりました。その他の委員会は、概ね横ばいとなっています。

【**福田 総務課長**】

委員の選定方法については、教育委員会部局と同様です。委員を公募したものとしては、平成30年度のかわまちづくり協議会であり、応募され委員となられた4人のうち2人が女性でした。

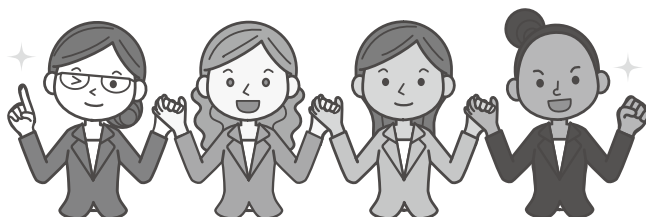
また、町長部局の女性委員の比率も、ほぼ横ばいとなっています。

Q 役場の女性幹部職員について、町長部局、教育長部局それぞれの男女比率の推移をお尋ねします。

A 【**粥川 教育長**】
教育委員会部局では、現在まで女性課長はおりません。教育委員会の職員は町長部局から出向していますので、別の行政委員会とはいえ役場全体での人事異動が原則であることをご理解いただきたいと思います。

【**福田 総務課長**】

町長部局においてもこれまで課長職への女性登用はありませんが、平成30年3月議会の町長答弁のように、職員の幹部登用については、性別に関係なく、知識や経験、人事評価の結果を考慮して決定しており、今後は女性職員の幹部登用機会が増えていくものと考えています。



Q 消防団員の補充に苦慮しているという現状の中、その原因は何かお尋ねします。

A 【**福田 総務課長**】
全国的には定員を大きく下回っているところもあると聞いていますが、当町は幸い人数的に大きな減少傾向にはありません。しかし、仕事の傍ら消防団活動との両立が難しい事情があり、有事の際や定期訓練など人員確保に課題があります。

団員の補充に苦慮している原因については、人口減少、被雇用者の増加、コミュニティー意識の希薄化の進行などによるところが挙げられます。

Q 特別職公務員として報酬は条例で定めているが、適当なのでしょうか。

A 【**福田 総務課長**】
平成31年度から行った消防団組織の改編に伴い、年間報酬額や出勤手当の引き上げについて検討したところです。県内の平均額を参考に決定しましたが、年間報酬については平均額を上回っていたため据え置きとし、出勤手当については1,800円/回に引き上げました。しかし、町としても団員の処遇改善のため、今後も定期的に報酬額等を見直していく必要があると認識しています。

議 会 活 動

1月～3月

1月

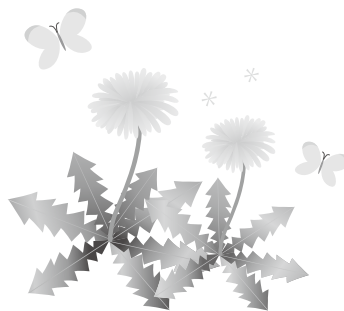
20日 例月出納検査

2月

2日 第1回臨時会
 3日 後期高齢者医療広域連合面談
 9日 後期高齢者医療広域連合議会
 給食センター運営委員会
 10日 議会運営委員会／議員タブレット更新講習会
 16日 地方財政対策等説明会
 19日 可茂町村議会議長会
 24日 例月出納検査
 国保・介護保険運営協議会

3月

1日 中学校組合議会
 2日 議会運営委員会
 4日 可茂地域一部事務組合議会
 5日 第2回定例会（～17日）
 8日 議員全員協議会（～9日）
 11日 総務産業建設委員会
 12日 文教厚生委員会
 15日 議員全員協議会
 23日 例月出納検査
 24日 県町村議会議長会
 25日 町空家等対策協議会



編 集 後 記



毎年3月、4月は、卒業・入学・入退社・人事異動と生活環境が目まぐるしく変わり、涙する寂しい別れも新しい出会いもこの時期の日本の風物詩の一つです。

今回の3月議会は、令和3年度の予算決定をはじめ、新型コロナウイルス対策や町民の介護保険料に対する質疑など行いました。

介護保険料では、今後の高齢化を考え、また、介護サービスの低下を防ぐため値上げはやむなしと判断して、執行部案の通り決定しました。

私たち議員は、いつの議会でも議案に対する可否は、重く厳しい判断を下して臨みます。ましてや今回のように、町民の皆様方にご負担をお願いするような可否は、一段と重さが増し苦しみます。

富加町のような小さな町では、毎年咲く桜のように、短い期間に咲き誇るだけではなく、たくましく成長する雑草のように、地道に根の張る社会基盤を作ることが私たちの務めであり、それがとてもこの町に似合う姿だと思いますが、町民の皆様はどう思われますか。

(文責 山田 直行)

議会広報委員会
委員／井戸 亨・山田 直行

＼町民のみなさん／

町議会を傍聴 してみませんか？



本会議当日は、役場1階ロビーでもライブ中継を視聴できます。

次回定例会は6月に開催

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

いま もっと、まちのこと

これが知りたい!!



町議会議員選挙、町長選挙の 選挙公営制度とは?



公職選挙法の一部改正に伴い、町議会において選挙公営に係る条例が制定されました。富加町議会議員選挙及び富加町長選挙の候補者に係る選挙運動の一部を町が負担するという制度で、公費で負担することからその仕組みは「選挙公営制度」と言われます。一体どのような制度なのか、町の選挙管理委員会に聞きました。

01 「選挙公営制度」の概要を教えてください。

資産の多少にかかわらず、立候補や選挙運動の機会を持てるようにするために、候補者の選挙運動費用の一部について公費で負担する制度です。

02 どんな費用が、どれくらいまで対象になるのですか。

本町では、選挙運動用自動車の使用と選挙運動用ポスターの作製について、下記の限度額の範囲内で公費負担します。ただし、供託物没収点※1に達する得票を得られないと公費負担を受けることができず、費用全額を候補者が負担しなければなりません。

選挙運動用 自動車の 使用	契約内容		単価の限度額	選挙運動日数による限度額 (例: 5日の場合)
	1	一般運送契約 (ハイヤー業者等)	1日1台 64,500円	64,500円×5日=322,500円
2	①自動車借入契約 (レンタル)	1日1台 15,800円	15,800円×5日= 79,000円	
	②燃料供給の契約	1日あたり 7,560円	7,560円×5日= 37,800円	
	③運転手雇用の契約	1日1人 12,500円	12,500円×5日= 62,500円	

選挙運動用 ポスターの 作製	単価の限度額	作製枚数の限度額	ポスター作製の公費負担限度額
	(525円6銭×ポスター掲示場数28箇所+310,500円) ÷ポスター掲示場数28箇所÷11,615円	ポスター掲示場の数 28枚 (R3.3月時点)	11,615円×28枚=325,220円

※1 供託物没収点…町議会議員/有効投票総数を議員定数で除した数の10分の1、町長/有効投票総数の10分の1

03 この制度を通じて期待することは。

地方議員のなり手不足が問題となっています。この制度を通じて立候補しやすい環境となり、議会の活性化に繋がることを期待したいと思います。

町選挙管理委員会
書記

ほうたに あきひろ
宝谷 昭宏さん



富加町議会だより

とみかのぎかい

2021.4.25
No.181

編集/議会広報委員会 発行/岐阜県富加町議会

富加町議会 議会事務局

〒501-3392 岐阜県加茂郡富加町滝田1511
TEL 0574-54-2161 FAX 0574-54-2461

URL <https://www.town.tomika.gifu.jp/chosei/gikai/>

